

四日市市PTA連絡協議会
発行責任者：寺本真由美
編集 集：小畑 貴一

市P連ニュース

四日市市PTA連絡協議会事務局

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
四日市市教育委員会 教育総務課内
☎059-354-8236 FAX 059-354-8308
連絡時間/月・火・木・金 9:30~15:30

会員のみなさまの声をお待ちしております。 四日市市PTA連絡協議会 <https://www.4pta-lc.com>

会長あいさつ

四日市市PTA連絡協議会会長 寺本 真由美



日頃は四日市市PTA連絡協議会の活動にご理解とご協力を賜り、会を代表いたしまして心より感謝申し上げます。

未だに大きな影響が続いている新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、私たちの生活の不安が解消されるには、まだかなりの時間が必要な状況です。しかし今年度の状況はこの二年間と比べひた迫っていないこともあるのか、子どもたちの学校生活や

学校行事には昨年ほどの制限がかかっていることに少しホッとしています。またそんな困難な状況でも子どもたちは負けず、今できることを自分たちで考えて実行することができています。

同時に私たち役員も外郭団体の活動で県外への視察研修や研究大会にも参加しました。しかしながら昨年度より引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、行事の急な変更・縮小・中止等を余儀なくされることもありました。

PTA活動を行う上でも多様な生活環境の中で、就業との調整・家庭との調整をしつつの活動への参加という点は

中学校委員会講演会 子どもにかかわる大人に必要な性のお話

令和4年12月6日(火)、三重県立看護大学 母性看護学の杉山泰子さんに「性」について話をオンラインでいただきました。普段、学校では踏み込んで教わることがない内容ではあります。現実問題を知ってほしいため中学校委員会の講演会として企画させていただきました。

杉山さんは、まず、子どもたちを取り巻く環境と性暴力の実態を事例を混じえて解説し、また刑法が改正されるもまだまだ壁となつて救済されない被害者がいるのだと説明されました。子どもが被害にあった場合の健康への影響は甚大で、大人として一番に考えるべきことは何かを説明されていました。過去、日本で、小・中学校で起こった残虐な性事件があったところから、情緒的な発達を心配する母親が増えて行きました。そのような出会いがあり、杉山さんは「いのちの教室」で生命の尊重を訴える教育にかかわり課題や改善をしながら挑戦

し続けるようになりまます。そして、子どもたちを性暴力の加害者・被害者、傍聴者にもさせないよう大人が関心をもつて守ってほしいと訴えています。この講演を聞いた後に保護者や生徒に感想をいただきました。

ある母親「自分の子どもに正しい知識を知った上で責任のある行動をしてほしい、自分がいやなときは、ノーといつてほしい。こういう講演を沢山開催してほしい」

ある父親「大学生の男の子がいるが、この話を聞いてうちの子供大丈夫かなと、親子会話をしたいと思った。講演で聞いた、二次被害になりうる言葉は、普段使っている言葉だったので、気を付けなければと思った」

中三女子「私が生まれる前の性事件は講演のあとと親から聞いて怖かったです。あと、クラスのカッパルがのろけすぎて心配です。」

貴重な講演ありがとうございました。

皆に共通しています。

私は本年度の活動については、役員の皆様と過度な責務にとらわれず、お互い助け合つて出来る範囲で子どもたちの学校生活を見守っていく。そしてできれば楽しく活動していきたいと願っております。私たちがPTA活動を楽しんでいる姿というのは、当の子どもたちにとつて「親が子育てを、つまり自分との関わりを楽しんでくれている」という風に伝わっていると思います。私が実際に会長として実感したことは「大変だけれども楽しい」という事です。やりがいのある活動ができたこと、また多くの方の善意に触れることができたこと、会長としてPTA活動に携わることが本当に幸いだったと感じています。

改めてお礼を申し上げます。結びの言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

幼稚園 委員会 講演会



宮崎つばき 教授

令和4年11月14日(月)四日市市文化会館第3ホールにて、子ども園幼稚園委員会講演会が開催されました。講師には三重県立看護大学看護学部教授の宮崎つばきさんをお招きし、「地域で育てよう！子ども

のやる気と自己肯定感」のテーマで、乳児期から幼児期にかけての心身の発達や、大切にしたい生活習慣、そして自己肯定感の育て方についてわかりやすくお話いただきました。特に印象に残ったのは、「子どもが自己効力感や肯定感を持つための自己肯定感を育てる」という言葉が、子ども自身に語りかけるように聞こえ、保護者の責任である」とのお話もありました。「可能性」を広げるツールにも、「危険」なツールにもなってしまうスマホ利用について、家庭でしっかり話し合うことが大切だと強く感じることができました。

「家庭の日」啓発事業
令和4年11月13日(日)「家庭の日」啓発事業として、四日市市文化会館にて「中学生のメッセージ」発表と「スマホ世代の子どもとどう向き合おうか」と題した講演会が行われました。「中学生のメッセージ」では「第44回少年の主張三重県大会」にて優良賞を受賞した朝明中学校2年井上響貴さんが、「1340円の失敗」と題した作品を発表してくれました。失敗から学び、また失敗が未来への糧になると、前向きにとらえる姿が印象的でした。「将来は自分の行動に責任をとれる大人になりたい」と力強く語る姿に、たくましさを感じる発表でした。

「家庭の日」啓発事業

令和4年9月30日(金)、10月1日(土)名古屋国際会議場にて第78回日本PTA東海北陸ブロック研究大会が開かれました。分科会と全体会と2日間に分けられた同大会では、四日市市からも数十名のPTA会員が参加し、講演を聞いたり、会議では他県PTAの方と意見を交換したりと今後のPTA活動の参考にさせてもらうことができました。全体会のオープニングでは、にっぽん真ん中祭り(ごまつり)からの強豪チーム「夜宵(よやい)」の皆様が演舞をし、参加者を魅了してくれました。記念公演では、哲学者でもある古野徳さんが登壇し、「学校が150年ぶりに変わる」を講演してくださいました。戦後から全く変わっていない義務教育・警鐘を鳴らし、子供たちにとって望ましい未来の学校にしていくために必要なことを自らの研究論文と交えてお話してくださいました。それも学校は何の為にあるのかを考えさせられる講演でした。



井上響貴さん

スマホ世代の子どもとどう向き合おうか」とのお話も子どもたちの世界」では講師としてジャーナリストの石川結貴さんをお招きし、講演いただきました。気軽に使えるインターネットやSNSが持ち合わせている危険性についてスマホ用アプリの具体的な名前を挙げながらお話してくださいました。危険性を理解せず使用することにより、被害者だけでなく、時には加害者になってしまうことへの恐ろしさや、スマホ利用の問題を子ども任せにするのではなく、各家庭でルールを設定し、それを守るという「保護者の責任である」とのお話もありました。「可能性」を広げるツールにも、「危険」なツールにもなってしまうスマホ利用について、家庭でしっかり話し合うことが大切だと強く感じることができました。

「未来を語る会」
令和4年7月9日(土)第21回みえ子どもの未来を語る会が、津市勤労者福祉センターサンワーク津にて行われました。講師として、北京オリンピックにも出場されたイムラアスリートアカデミーの井村(旧姓池田)久美子さんをお迎えしました。

講演のテーマは「楽しむ」原点から学んだ子供との関わり方をテーマに、陸上競技をしてきた経験からお話しして頂きました。原点は山形の実家で雪下ろしをし、手伝つて親から誉められた事。褒められる事の嬉しさ、挨拶や思いやりの大切さ、子供達にも役割や頼る事をしてあげて、また価値観を認めて共感を演じて頂きました。私も子供達の接し方が勉強になりました。

東海北陸研究ブロック大会 名古屋大会

令和4年9月30日(金)、10月1日(土)名古屋国際会議場にて第78回日本PTA東海北陸ブロック研究大会が開かれました。分科会と全体会と2日間に分けられた同大会では、四日市市からも数十名のPTA会員が参加し、講演を聞いたり、会議では他県PTAの方と意見を交換したりと今後のPTA活動の参考にさせてもらうことができました。全体会のオープニングでは、にっぽん真ん中祭り(ごまつり)からの強豪チーム「夜宵(よやい)」の皆様が演舞をし、参加者を魅了してくれました。記念公演では、哲学者でもある古野徳さんが登壇し、「学校が150年ぶりに変わる」を講演してくださいました。戦後から全く変わっていない義務教育・警鐘を鳴らし、子供たちにとって望ましい未来の学校にしていくために必要なことを自らの研究論文と交えてお話してくださいました。それも学校は何の為にあるのかを考えさせられる講演でした。

広報紙コンクール

令和5年2月18日(土)四日市市文化会館第3ホールにて、新型コロナウイルスの感染拡大の対策を施して、3年ぶりに四日市市PTA連絡協議会広報紙コンクール表彰式・展示会が開催されました。ここに厳正なる審査の結果、入賞のご報告をいたします。本年度は幼・小・中合わせて18校の応募がありました。どれも各校の様子やPTA活動のそれぞれが、ユニークに紹介されている素晴らしい作品で、広報紙を作成された皆様の思いが結ばれていたように感じました。



令和4年度
広報紙最優秀賞
八郷西小学校
「竹の子」

- 最優秀賞 八郷西小学校「竹の子」
- 中日新聞四日市ホームニュース賞 内部幼稚園「ちゅ〜りっぷ」
- 優秀賞 羽津北小学校「けやき」・川島小学校「さんぼみち」
- 表紙部門賞 三重小学校「さざそう」
- レイアウト部門賞 三重北小学校「たけのこ」
- 企画部門賞 富洲原小学校「すずかけ」
- 入選 海蔵小学校「かいぞう」・大矢知興譲小学校「興譲」・大池中学校「おおいけ!!」

PTA講演会 アナウンサーパフォーミング



笠井信輔さん

令和4年6月5日(日)、四日市市PTA連絡協議会の総会後にオンラインにて、フリーアナウンサーの笠井信輔さんによる講演会「子育て、そして：がんアナウンサーパフォーミング」が開催されました。笠井さんががん判明や新型コロナウイルス感染拡大のために3年越しの開催となったこともあり、とても熱意あふれるお話をお聞きすることができました。

人気アナウンサーとして活躍する傍ら、3人の息子さんの子育てや、PTA活動にも積極的に参加される笠井さんの姿から、私たちの子育てにも生きる大きなヒントをいただきました。また、家族とともにがんばる姿からは、健康や家族のつながりの大切さを学ぶことができました。

三河地区 高校展

令和4年11月5日(土)三河文化会館にて、第6回三河地区「高校展」が開催されました。約1100人の児童、生徒、保護者、教職員の方々に来場いただきました。

参加した北勢地区と周辺の36校の各ブースでは、高校の先生と直接話ができる場ということで、学校の特色や部活、進路などについて真剣に質問する姿が見られました。また今年度は、各校の制服の展示もあり、好評いただきました。

当日は駐車場や一部ブースが非常に混み合った状態になり、ご迷惑をおかけいたしました。いただきましたご意見を参考に、来年度以降、より良い開催に向けて検討して参ります。



令和3年・令和4年 感謝状受賞者

- 伊藤 紅己子 (富洲原中学校)
伊藤 礼子 (西陵中学校)
遠藤 研一 (山手中学校)
川北 貴也 (富洲原中学校)
城戸 勝喜 (塩浜中学校)
鈴木 優 (山手中学校)
高橋 和宏 (富洲原中学校)
谷村 陽平 (三滝中学校)
生川 勝信 (朝明中学校)
服部 義弘 (大池中学校)
松井 順子 (中部中学校)
松本 和也 (西朝明中学校)
石原 文香 (羽津北小学校)
石嶺 育子 (県小学校)
市川 稔規 (大矢知興譲小学校)
伊藤 規男 (海蔵小学校)
伊藤 了 (海蔵小学校)
稲葉 千景 (常磐小学校)
井上 綾子 (桜小学校)
井上 博仁 (日永小学校)
岩崎 文哉 (三重北小学校)
太田 千景 (海蔵小学校)
大平 美和 (県小学校)
岡野万里子 (県小学校)
加藤 浩行 (海蔵小学校)
亀田 京子 (楠小学校)
川井奈穂子 (三重西小学校)
岸田 諭祀 (中部西小学校)
近藤 久子 (富田小学校)
齋藤 有未 (八郷西小学校)
坂本 義貴 (三重北小学校)
杉戸 雅巳 (笹川西小学校)
鈴木 俊史 (河原田小学校)
田中 マキ (八郷小学校)
西内 伸行 (大谷台小学校)
丹羽 昌邦 (川島小学校)
野坂 泰行 (中部西小学校)
原田 努 (内部東小学校)
藤井 康之 (羽津北小学校)
森 祥子 (水沢小学校)
渡邊 将充 (富田小学校)
※他1名



廣瀬教育長から受賞者代表谷村様へ

PTA活動に尽力された方を心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

総務委員会

今年度の総務委員会は、ウィズコロナ様式で活動を行いました。総務委員会は毎回オンラインで行いました。総会、常任議員会は参加される皆様の感染対策というだけでなく、皆様のライフスタイルに合わせた新しい会議のやり方として、現地参加とZoomでの参加のハイブリッド開催にて実施しました。ブロック会に参加者皆様が話しやすいようにハイブリッド開催ではなく、現地のみでの開催となりました。オンラインでは大きな交流の場を作ることができ、有意義な活動ができたと思っています。

今後は、このVUCA(変動的で不確実で複雑で曖昧な)の時代の中でPTAがどのように活動していけば良いのかを、皆様と考えながら今後も活動をしていきたいと思います。今年度の活動にご協力いただきました総務委員およびご協力いただきました全ての皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございます。

- 生川 あかね (委員長・富田小P)
里中 祐介 (副委員長・小山田小P)
吉田 洋一 (副委員長・羽津小P)
山本 尚子 (中央小P)
伊藤 彰 (海蔵小P)
太田 幸登 (八郷小P)
服部 拓朗 (三重北小P)
山本 直史 (中部中P)
西村 太希 (四郷小P)
篠原 藍 (内部東小P)
寺本真由美 (市P連会長・塩浜小P)



中学校委員会

今年度の中学校委員会は、6名の委員で活動しました。

活動内容の一つ目は、高校展の開催です。ここでは高校の先生に直接お話を聞く事ができ、いろいろな高校の情報を一度に知るいい機会になったと感じています。

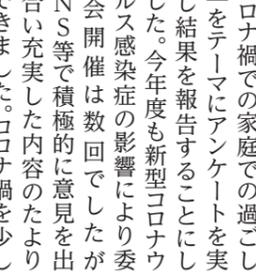
二つ目は、中学生の保護者や教職員にむけて、性についての講師をお招きし、オンライン講演会を開催しました。テーマは、「こどもに関わる大人に必要な性の話」で行いました。

今回開催した内容は、どうしても隠しがちになってしまいう部分ですが、とても重要な部分だと感じています。今回の講演会を開催した事で、「今の子の性の現状を知った」「やお子さんとの話を話さすきっかけになった」という意見も聞かれ、今回開催出来たことに感謝しております。また中学校委員長として関わらせて頂き、いたらない点もあつたかと思いますが、皆様のご協力のもと、無事開催できました。本当にありがとうございます。

- 仲野 結 (委員長・大池中P)
西野 篤子 (副委員長・南中P)
岡田 景介 (富田中P)
後藤 恵子 (常磐中P)
仲 元子 (笹川中P)
大河内智子 (中部中P)

小学校委員会

今年度の小学校委員会は「コロナ禍での家庭での過ごし方」をテーマにアンケートを実施し結果を報告することになりました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により委員会開催は数回でしたがSNS等で積極的に意見を出し合い充実した内容のたよりができました。コロナ禍を少しでも快適に過ごすヒントになればという思いで作成いたしました。是非ご家庭で二読下さい。委員の皆様のおかげで素晴らしい小学校委員会となりました。



子ども園幼稚園委員会

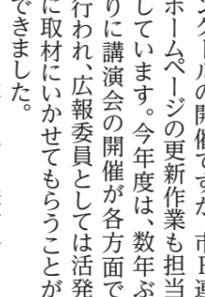
今年度の子ども園幼稚園委員会は、各ブロックから3名と本部から2名の5名で活動しました。昨年度はコロナ禍で何もできず、「この委員会は意味があるのか?」と思っていました。ですが、やっとのことで三重県立看護大学の先生をお招きしての講演会ができました。参加人数としては少なかつたですが、とてもいいお話が聞けました。参加された方ほとんどが良かったと言ってもらえたことも、講演会ができて良かったなと思いました。まだまだ保護者の皆さんはPTA活動へのご理解が浅いとは思われます。私もその1人でしたが今年度、委員長をさせていただいてとても良い経験ができたなと思いました。



- 葛西 俊昭 (委員長・泊山小P)
川崎 京子 (副委員長・中央小P)
相松 智子 (大矢知興譲小P)
石田あゆみ (桜小P)
小林 道幸 (高花平小P)
西尾 輝尚 (羽津小P)

広報委員会

広報委員会の主な役割は、市連ニュースの発行と広報紙コンクルの開催ですが、市P連ホームページの更新作業も担当しています。今年度は、数年前に講演会の開催が各方面で行われ、広報委員としては活発に取材にいかせてもらうことができました。



この1年は色々な講演会やイベントがありました。紙面の都合上、すべての活動や講演内容を伝えきれなかったのは残念ですが、今年度は、家族でみてほしい記事については、紙面に何点かQRコードを貼り付けました。QRコードの先にあるこのテーマについて家族で話していたらいいなとありがたくおもいます。また今年度は各学校・園が作って頂いた広報紙を表彰式という形でたたえることができました。3年ぶりの式典開催で今年の活動を締めくくることができました。この1年ありがとうございました。

- 井上 勝史先生 (顧問・三重平中校長)
原 由香里先生 (顧問・高花平小学校長)
佐藤 敦子先生 (顧問・羽津幼稚園長)
丹羽 昌邦 (顧問・前市P連会長)
岸田 諭祀 (参与・元市P連会長)
松本 和也 (参与・元市P連会長)
原田 努 (相談役・元市P連会長)
川井奈穂子 (相談役・元市P連副会長)
市川 稔規 (相談役・前市P連副会長)

顧問・参与・相談役

私たちが顧問・参与・相談役は、本部役員の経験を生かし、現役本部役員が円滑に活動出来るようサポートして参りました。また、顧問の先生におかれましては、教育現場の現状や子供たちの学校・園での様子を教えて頂いたり、多岐に渡り、私たち四日市市PTA連絡協議会をサポートして頂きました。1年間本当にありがとうございました。



市P連ホームページ

2020年に開設されたHPもPTA活動の発信の媒体として欠かせないものになってきました。内容は、本年度の役員名、活動カレンダー、市P連主催の講演の告知、役員専用の様式ダウンロードページです。特に役員専用のページには、会議に必要な資料がPDF化されていますので、会議前にはここからスピーディーに資料を手渡すことができます。またHPには、中勢・北勢地域の高等学校の情報が知れる高校展などの特設ページがあります。関係者のみならず、受験生もぜひHPをみて気になる学校へアクセスしてみてください。HPへのアクセスは、このQRコードをよみるとか、「四日市市PTA連絡協議会」で検索してください。



PTA会員寄稿

『奉仕作業』

令和4年度は、いろいろな行事・会議等中止ではなく、Withコロナとして出来る限りの感染防止対策を取りつつ開催されたと思います。

Zoom会議・Zoomと現地を合わせたハイブリッド式など、コロナが蔓延して2年間ほどほぼ中止となっていた事が徐々に復活していき忙しくなりました。

私の地区の小学校でも1年半程、PTA活動による除草作業が中止になっており学校内は草が生い茂り、更に側溝にはグラウンドの土砂が溜まりすぎている状態。奉仕作業として参加者を募集し、コロナが落ち着いたらと言えない状況の中でも保護者・子供合わせてかなりの数の参加者が集まり感謝の想いでいっぱいになりました。

屋外での作業と言う事で基本的な感染対策がなかったのですが開催されたのが6月の初夏の蒸し暑い日でした。コロナの前に熱中症で倒れてしまう危険もありました。

そんな状況の中でマスクをしながら作業をするのはとても無理な事なのでマスク着用は強制しないという決断に至りました。

1年半のブランクは凄いもので、人が集まっていなければとても除去できていなかったと思います。

中止にせざるを得ない状況は仕方が無いですが、中止になった事によってどんな問題が発生するのかを思い知らされた1年でありました。

お世話になっている小学校の為に汗を流しながら黙々と除草作業や土砂の除去をして頂いた参加者の皆様には改めて感謝しかありません。

PTA役員としてこれから色々な事が復活して忙しくなりそうな雰囲気ですが、今は昔と違ってLINEやリモートでやり取り出来る時代なので多様な方法を駆使する事で乗り切っていけるのではと思います。

編集後記

今年度も「市P連ニュース」を無事発行することができました。2年半余りの新型コロナウイルスの感染拡大で、私たちのPTA活動は停滞して、私たちのPTA活動は、少しずつ活動が再開されました。色々な活動の場では、著名人やジャーナリストや講師の方をお招きし大人や子供たちのためになるお話や講演をしていただくことで、本紙の記事にさせてもらうことができました。また会場の設営のお手伝いをし地域の方とふれあうことで、若干の規制やルールはあるものの、以前の生活にもどっていくと実感しました。

今年度は、2年分のPTA活動表彰者の掲載と未来ある子供たちへメッセージを盛り込んだつもりです。手にとって読んでいただけたら嬉しいですね。最後にこの紙面作成に携わっていただいた沢山の方に協力頂きました。ありがとうございます。



令和4年4月3日(日)富田地区の蓮光寺境内で、薬物乱用防止啓発キャンペーン四日市大会が行われました。本大会は、違法薬物を①買わない②持たない③使わないという薬物乱用防止を宣言し日本全国に普及させていくキャンペーンです。会場に来ると、あずま太鼓饗宴が鳴り響き、また薬物の恐ろしさを知る資料の展示や大麻草やけしの実の県内分布マップなども展示されました。毎年開催され、楽しみながら知識を増やすイベントです。是非ご家族でお越しください。

薬物乱用防止 キャンペーン 四日市大会